

# 2024年3月期決算説明会

2024年5月24日

**TDCソフト株式会社**

# アジェンダ

- 1 2024年3月期 決算概況(連結)
- 2 2024年3月期 主要施策の状況
- 3 2025年3月期 見通しについて

代表取締役社長 小林 裕嘉

- 4 2024年3月期 決算内容  
取締役執行役員 コーポレート分野担当 大垣 剛



# 2024年3月期 決算概況(連結)

## 2024年3月期 決算概況(連結)

(単位:百万円)	2024年3月期	利益率	前年同期比	2023年3月期
売上高	39,698	-	12.6%	35,242
売上総利益	8,112	20.4%	8.5%	7,479
営業利益	3,807	9.6%	10.1%	3,458
経常利益	4,253	10.7%	14.5%	3,714
当期純利益	3,089	7.8%	24.1%	2,490
ROE	17.7%	-	12.6%	15.7%
配当金	48円	-	6.7%	45円

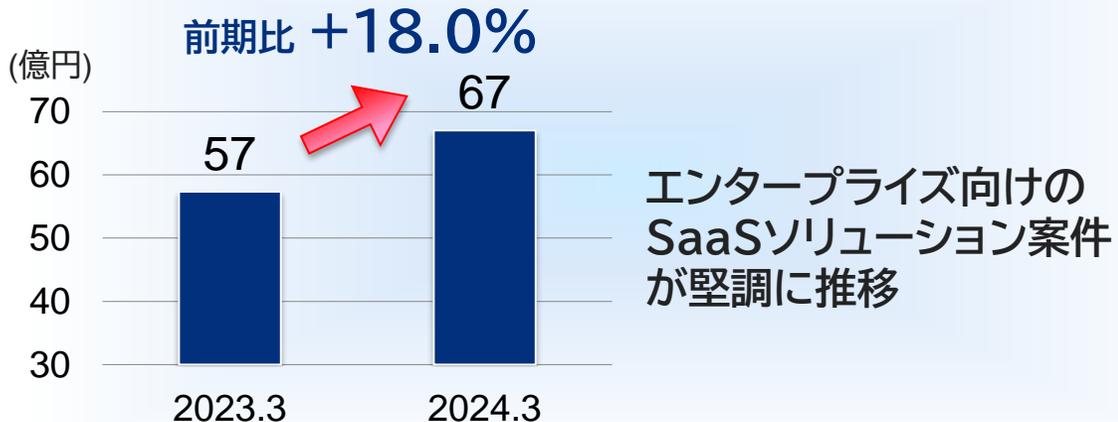
※ 2024年4月1日付けで、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
2024年3月期及び2023年3月期の配当金については、株式分割前の額を記載しております。

### 【ハイライト】

- 当期も引き続き戦略的なIT投資需要が活発に推移し、期初より全ての事業分野が堅調に推移
- 「SmartWork構想」に基づく本社移転など将来の事業拡大に向けた投資を積極的に推進し、コスト拡大も増収効果により営業利益も増益
- 投資有価証券売却益や賃上げ促進税制適用の減税効果により当期純利益の増益幅は更に向上

# 分野別ハイライト

## ITコンサルティング&サービス分野



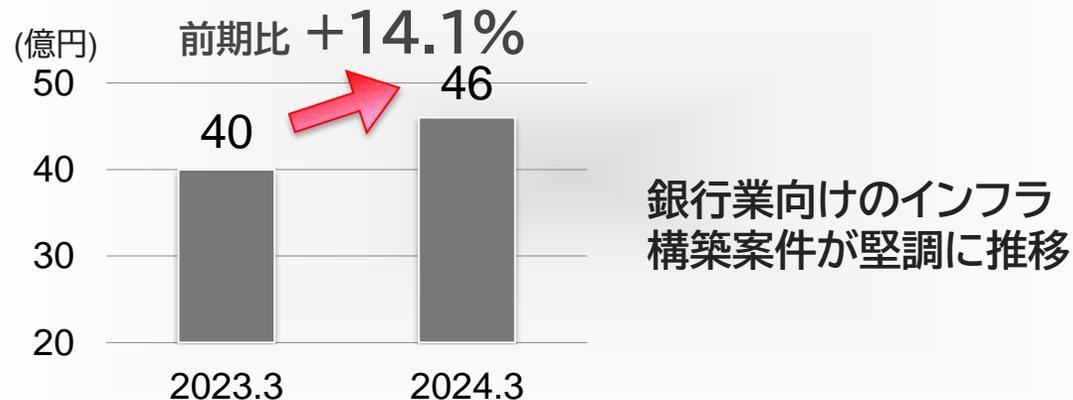
## 金融ITソリューション分野



## 公共法人ITソリューション分野



## プラットフォームソリューション分野





# 2

## 2024年3月期 主要施策の状況



# 中期経営計画 『 Shift to the Smart SI Plus 』

既存のSI事業領域を軸に新たな領域へ事業を拡大  
新たなビジネスモデルに必要なケイパビリティを獲得し、  
新たな次世代型SI企業を目指す

Plus!  
事業領域の拡大

社会や顧客の潜在ニーズを捉え、最新の要素技術等を活用した付加価値の高いインテグレーションサービスの拡大

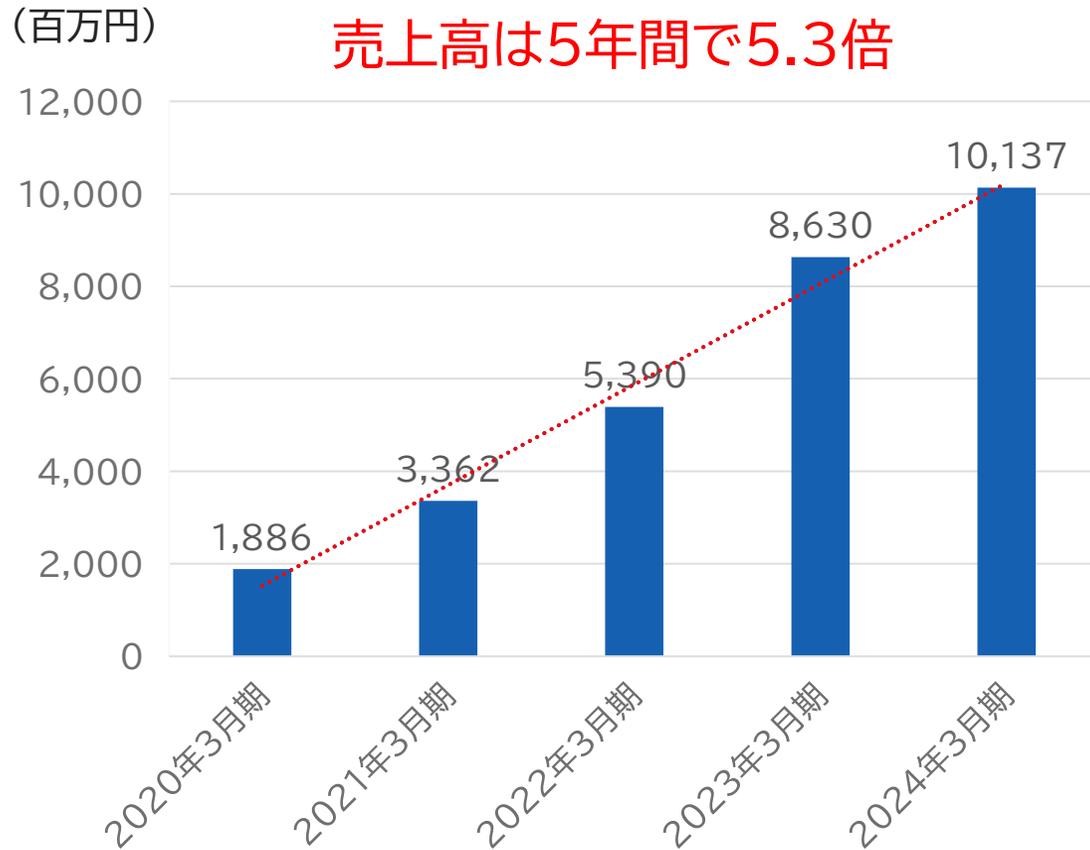
高付加価値  
SIサービスの追求

主要戦略

高生産性と高品質を両立するSIプロセスの整備などをイノベーション的アプローチで実現

SIモデル変革  
の推進

# 主要戦略①高付加価値SIサービスの追求



## 次世代型SI事業は順調に拡大

アジャイル開発やクラウド分野が牽引し、売上高は5年間で5.3倍、売上高構成比25.5%に拡大

### 次世代型SI事業

顧客の潜在ニーズを捉え、アジャイル、セキュリティ等の最新の要素技術等を活用し、高付加価値サービスの提供と時間や手間などを含めたユーザコストの低減を両立したインテグレーションサービス

# 主要戦略②SIモデル変革の推進

## トラブルプロジェクトの撲滅

プロジェクトパフォーマンス評価を可視化するシステムを導入し、適宜機能をアップデート。絶え間なく効率化を目指す

### プロジェクトパフォーマンス評価

プロジェクト推進に必要なスキル要素と体制(要員構成)を可視化しプロジェクトのパフォーマンス評価を可能にする。



※イメージ画像

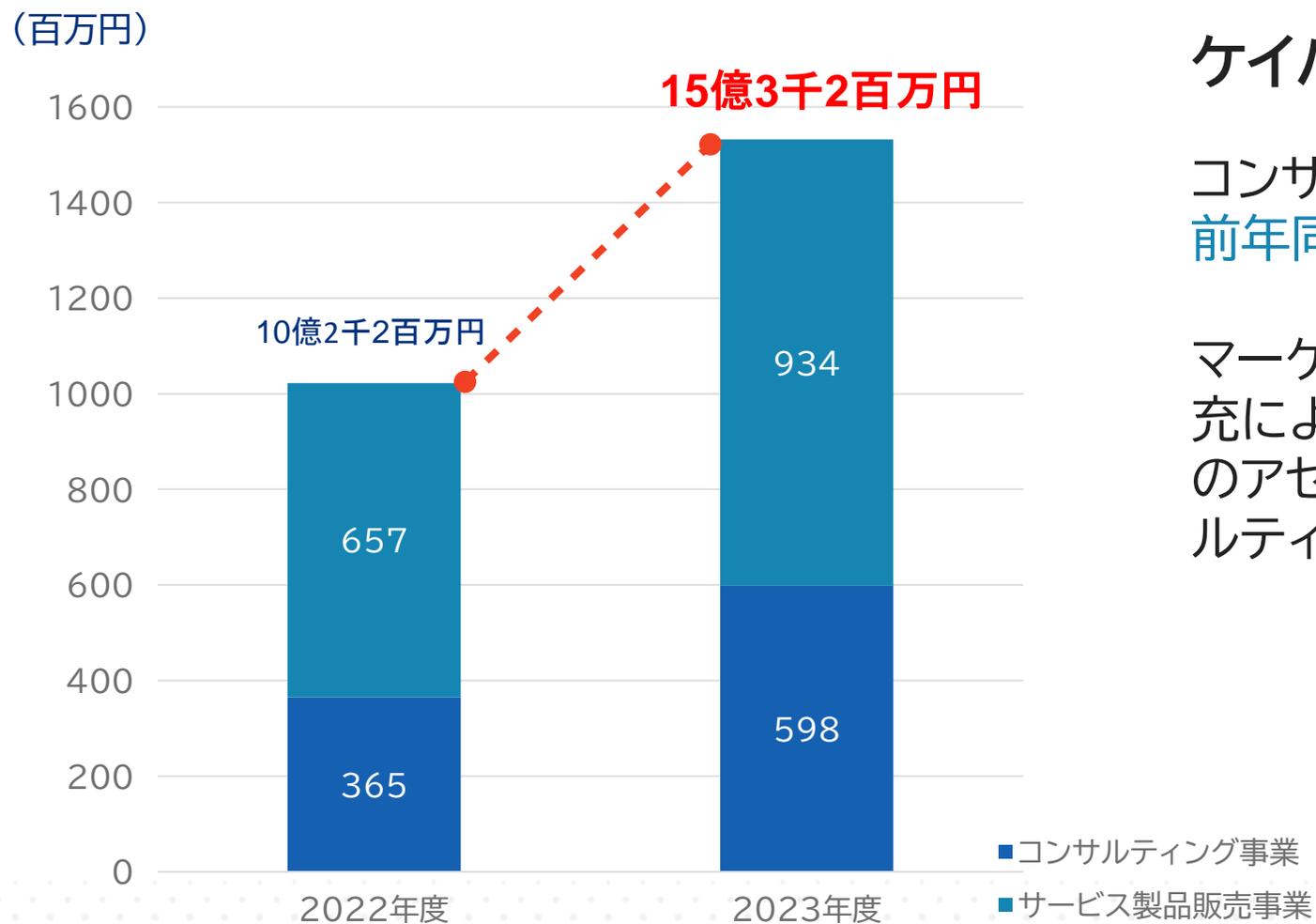
## SmartWork構想の一環で本社移転を実施

「Re:Place」をコンセプトとした新オフィスは、壁を最小限にして多機能ゾーンを配置。快適な作業スペースを確保し、効率的な作業とコミュニケーションを促進できる場を実現している。



生産性や技術者のエンゲージメント向上を目指す

# 主要戦略③事業領域の拡大



## ケイパビリティを獲得し事業領域を拡大

コンサルティング事業、サービス製品販売事業  
前年同期比50%増

マーケティング機能やプロダクトセールス機能の拡充によるサービス製品販売事業拡大や、ノウハウのアセット化やこれを用いた要員育成などコンサルティング事業拡大に向けた取り組みを推進



# 2025年3月期の見通し

# 2025年3月期見通し(分野別)

## ITコンサルティング&サービス分野



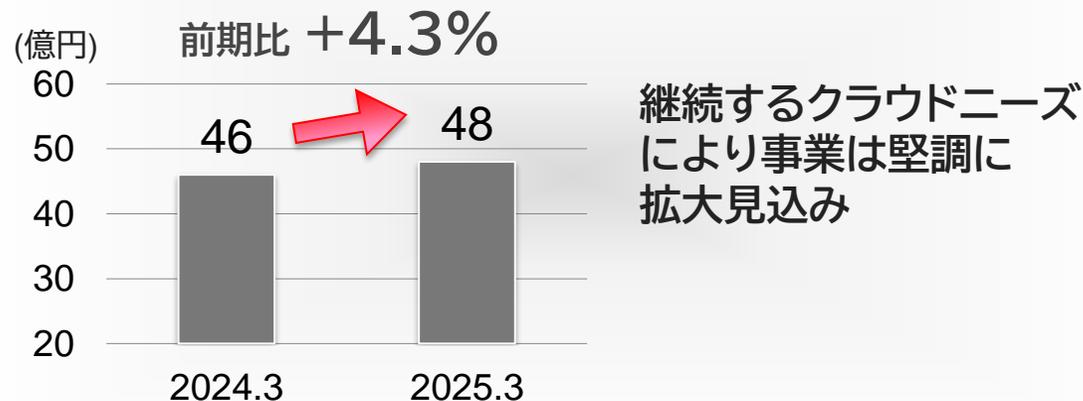
## 金融ITソリューション分野



## 公共法人ITソリューション分野



## プラットフォームソリューション分野



# 2025年3月期 見通しについて

## 業績予想および配当予想

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EPS (円)	配当予想 (円)
第2四半期(累計)	20,460 (+8.5%)	1,950 (+4.9%)	2,050 (+6.2%)	1,377 (+5.1%)	28.93	—
通期	43,000 (+8.3%)	4,300 (+12.9%)	4,600 (+8.1%)	3,090 (+0.0%)	64.91	24

※ 2024年4月1日付けで、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
2025年3月期の配当予想については、株式分割後の数値を記載しております。

- 事業環境は引き続き堅調に推移する見込みであり、中期経営計画の業績目標の売上高400億円は430億円に7.5%の上方修正
- 営業利益率10%を確保しつつも、先端要素技術の獲得や人材の確保・育成など、引き続き将来の事業拡大に向けた投資を積極的に取り組む
- 経常利益までは増収に伴い増益を見込むも、当期純利益は前期の減税効果がはずれ前期並みとなる予想



# 4

## 2024年3月期 決算内容



- 財務諸表
- 売上高分析
- 受注高・受注残高
- 営業利益分析

# 財務諸表

## 損益計算書

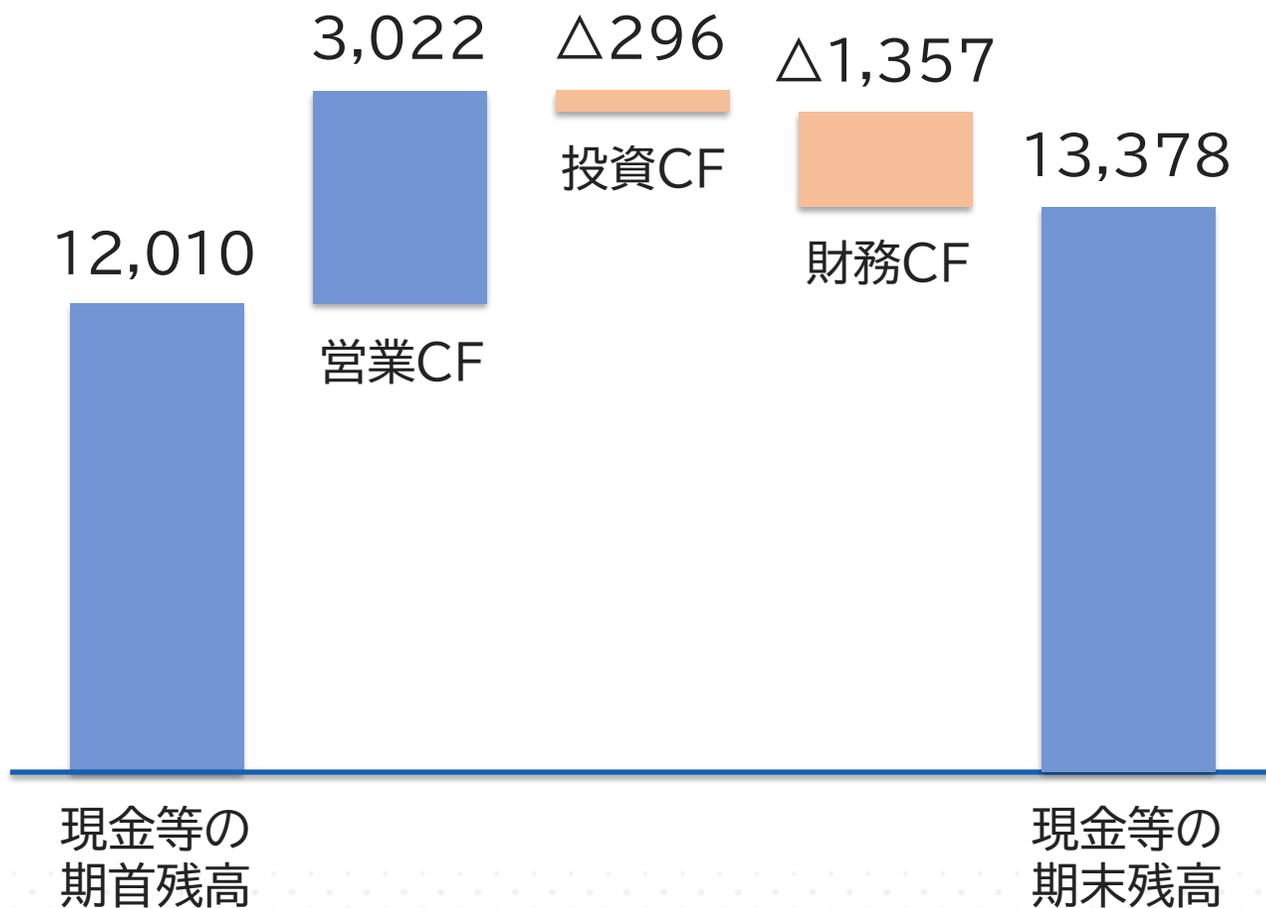
(単位：百万円)	2024年3月期	2023年3月期	増減率
売上高	39,698	35,242	12.6%
労務費	13,464	12,364	8.9%
外注費	16,938	14,501	16.8%
その他経費	1,173	922	27.2%
仕掛増減高	9	△ 25	△ 137.1%
売上原価	31,585	27,763	13.8%
売上総利益	8,112	7,479	8.5%
販売費及び一般管理費	4,304	4,020	7.1%
営業利益	3,807	3,458	10.1%
営業外収支	445	255	74.5%
経常利益	4,253	3,714	14.5%
税引前当期利益	4,253	3,714	14.5%
当期純利益	3,089	2,490	24.1%
EPS	64.90円	52.17円	24.4%

## 貸借対照表

(単位：百万円)	2024年3月期末	2023年3月期末	増減率
資産合計	25,505	22,771	12.0%
流動資産	20,434	18,827	8.5%
固定資産	5,071	3,943	28.6%
負債合計	7,028	6,361	10.5%
流動負債	6,378	6,045	5.5%
固定負債	649	316	105.6%
純資産合計	18,477	16,409	12.6%
負債純資産合計	25,505	22,771	12.0%
自己資本比率	72.44%	72.06%	0.5%
1株当たり純資産	392.16円	344.24円	13.9%

# 財務諸表

## キャッシュフロー計算書



現金等の期首残高	12,010
税引前当期純利益	4,253
売上債権及び契約資産の増加額	$\Delta 725$
その他	871
法人税等	$\Delta 1,377$
<b>営業CF</b>	<b>3,022</b>
有形固定資産の取得による支出	$\Delta 901$
投資有価証券の売却による収入	523
その他	82
<b>投資CF</b>	<b><math>\Delta 296</math></b>
自己株式の取得による支出	$\Delta 616$
配当金の支払額	$\Delta 726$
その他	$\Delta 15$
<b>財務CF</b>	<b><math>\Delta 1,357</math></b>
現金等の期末残高	13,378

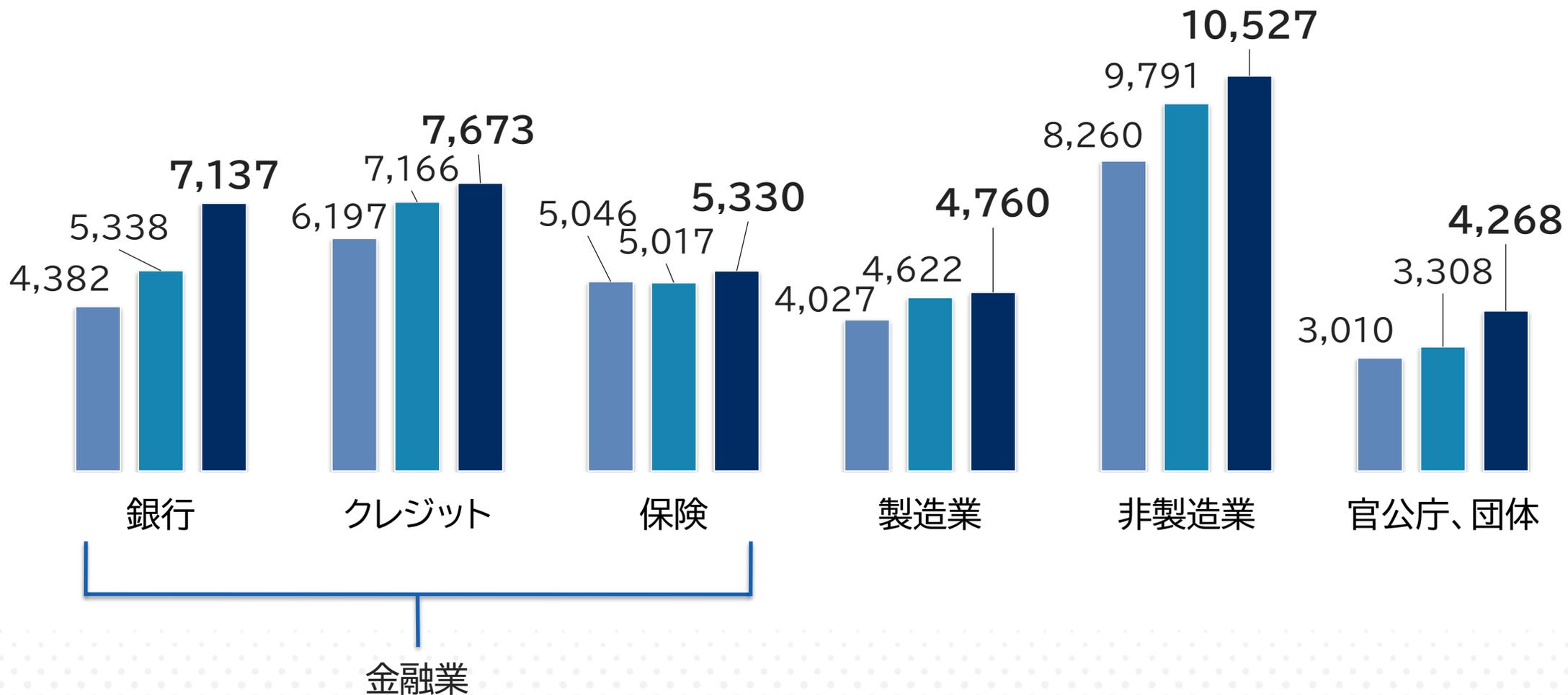
# 顧客業種別売上高概況

(百万円)

■ 2022年3月期

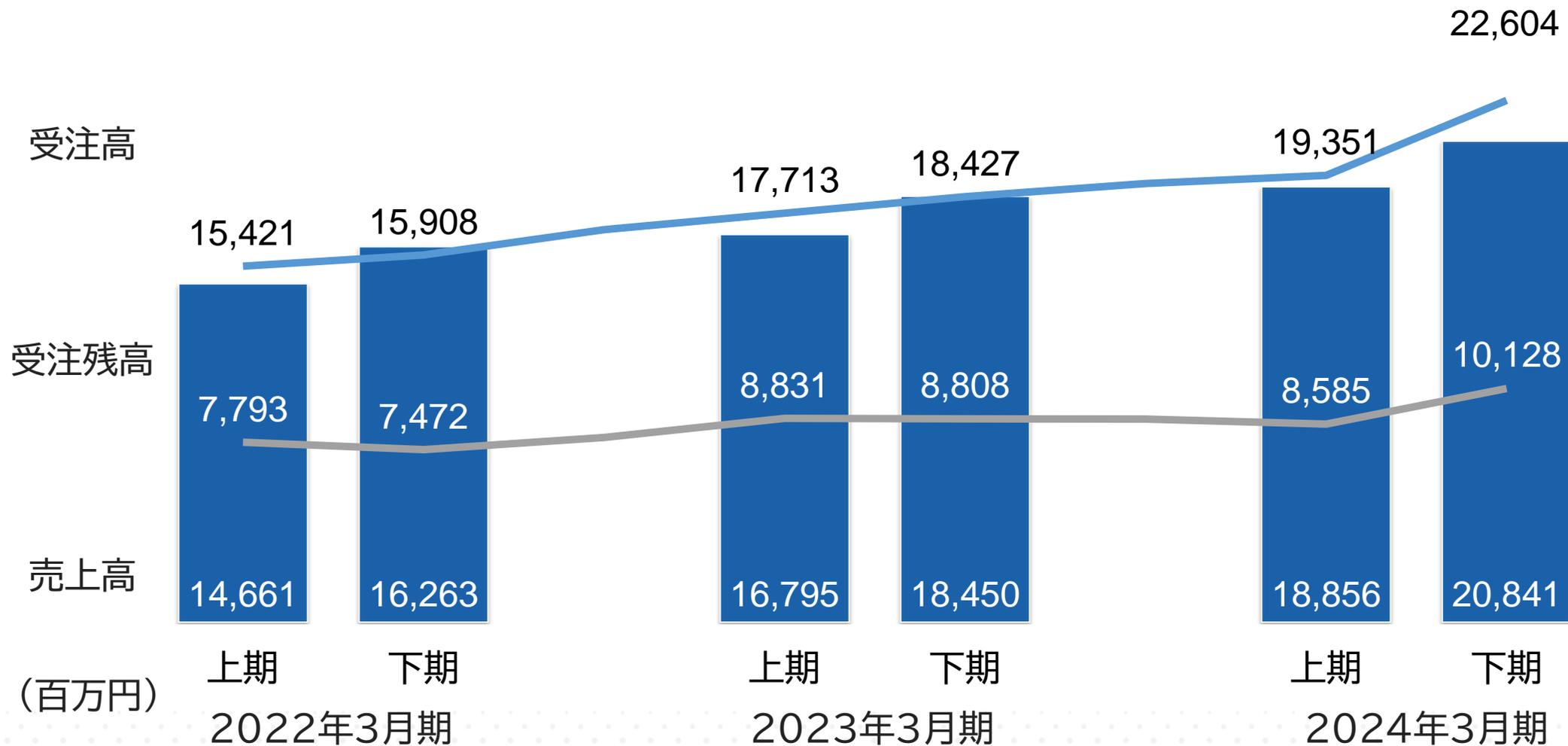
■ 2023年3月期

■ 2024年3月期





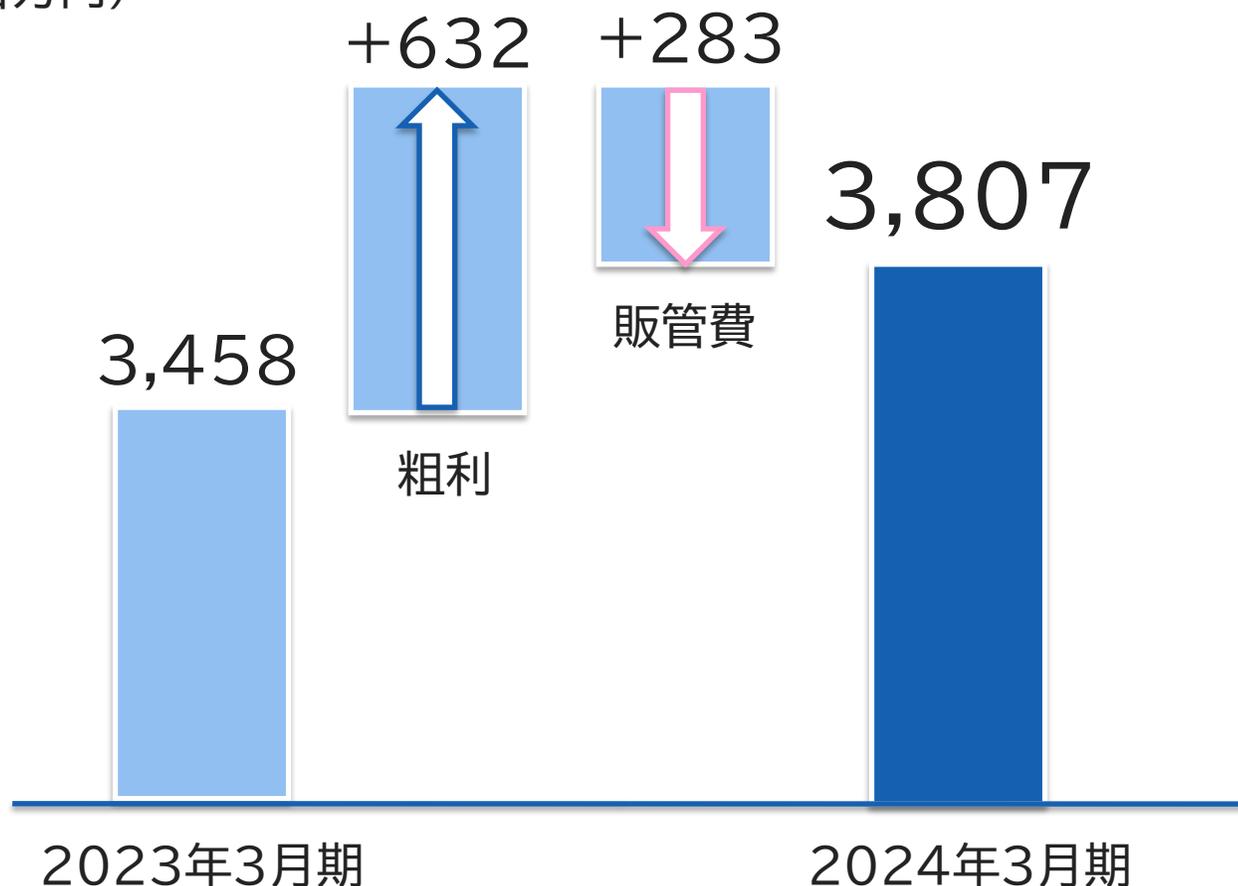
# 受注高・受注残高





# 営業利益分析

(百万円)



## <粗利益>

+売上高の増加による利益向上

## <販売管理費>

- +新卒採用者数の拡大
- +次世代型SI事業拡大に向けた新技術獲得
- +「Smart Work構想」の一環とした本社移転



※本資料についてのご注意:

本資料に記載されているTDCソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。